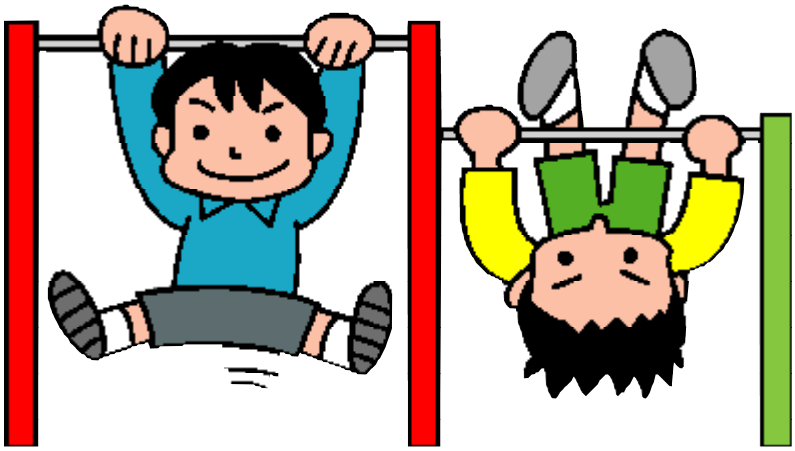
やる気・前向き・げんきっこ

家庭学習の手引き



名古屋市立吉根小学校

家庭を学びの環境に

● 家庭学習の手引き ●

まずは規則正しい生活から！

「早寝早起きをする」「朝食をきちんと食べる」など，規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を充実させ，家庭学習の習慣化につながります。

「がんばり」を認め，ほめて励ます

子どもの学習に目を向け，必要な声かけや見届け（点検）を行いましょう。
ねばり強い努力を本気でほめたり，励ましたりすることで自信がつきます。

決まった時間に毎日こつこつ！

最初は短く，だんだん長く。目安は，10分×学年です。毎日続けることが大切です。テレビを見ながら，おやつを食べながらはやめましょう。

すすんで学ぶ好奇心を！

身のまわりや社会の出来事に目が向くように働きかけましょう。
地域の行事への参加をすすめましょう。

読書に親しむ

まずは家庭での読書や読み聞かせをしましょう。
図書室や書店で本との出合いも楽しいものです。

インターネットとの正しいつきあい方を

役に立つものですが，同時に危険もあわせもっています。
ルールを守り，家族の目の届くところで楽しく使わせましょう。

一緒に家事を

家族の一員としての責任感と自立心を育てましょう。家族が協力して家事を行うことで，精神の安定につながり，心身ともに健やかに育ちます。

先生と連絡を！

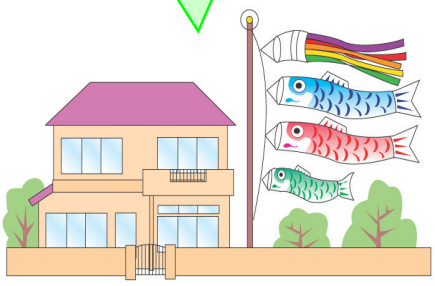
わからないこと，困ったことは，遠慮せず学校に相談してください。
子どもたちのことを，学校と一緒に考えましょう。

子どもの「学ぶ力」は
家庭学習から育ちます

子どもの「学ぶ力」を育てることは，学校教育の重要な役割ですが，家庭のかかわりによって，その育ち方は大きく変わります。

下の図のように，家庭と学校とが「家庭学習」を通して協力し合うことが，子どもたちの「すすんで学ぶ力」と「心身の健康」を育てていきます。

- 生活リズムを整え，決まった場所と時間に**学習に集中できる環境**を
- 認め，励まし，対話のある**温かいふれあい**を



〔家庭で〕

すすんで学ぶ力

心身の健康

- 基礎・基本と学び方を身に付け，主体性を育てる**学習指導**を
- 子どものよさを生かした**家庭学習の提案**を

〔学校で〕

家庭と学校とが協力して
子どもの「学ぶ力」を育てましょう

家庭学習のめあてとめやすの時間

１・２年生	基本的な生活習慣を身に付ける（１５分～３０分）
３・４年生	自ら机に向かう習慣を身に付ける（３０分～４０分）
５・６年生	自ら予定を立て，自力で学習を進める（５０分～６０分）

小学校1・2年生

基本的な生活習慣をきちんと身に付ける

いつするの？

帰宅後の生活スケジュールは家庭によっていろいろです。学校から帰ってすぐする方がよい場合と，夕食後，家の人に見守られながらするのがよい場合など，家庭の生活と自分に合った時間帯は様々です。

家族と一番適した時間帯はいつかを話し合い，時間帯を決めたら，それを守る子どもの努力とお家の方の協力が大切です。

どんなことを？

例えば，次のようなことが考えられます。

1　まず，「宿題」をていねいにやります。
2　復習（その日学習したことを，自分の力でもう一度やってみる）
3　見直し（テスト，プリントで間違ったところをやり直す）
4　自主学習（苦手なところを繰り返し行う）
5　調べ学習（学校で学習したことで，さらに詳しく知りたいことや疑問に思ったことなどをインターネットや事典を使って調べる）
6　音読や読書
7　日記や関心をもった新聞記事・ニュースなどについての意見文を書く。
8　家庭で買ったドリルや問題集などをする。
9　次の日の準備と持ち物を調べよう。忘れ物がないようにする。

※　家庭学習用のノートがあると便利です。
※　予習（次の時間に学習することをまとめたり，自分の力で問題を解いたり，疑問を見付けたりする学習）も大切です。予習にも挑戦してみよう。

家庭学習 3つのコツ！

その1　最後までやり終える！～家族も一緒に根くらべ～

「宿題はさいごまでやること」を守らせましょう。最後までやったかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも，時間のけじめをきちんと守らせましょう。

根負けせずに，ねばり強く働きかけることが大切です。

その2　子どもに家事を！～高学年・中学生になっても～

家庭で，子どもにできる仕事を見つけてください。

家族の一員としての自覚が育つとともに，学習に必要な持続力，集中力，根気などが育ちます。こうした家事の分担は，学年が上がってもするべきです。

その3　子どもは見ている！～子は親の後ろ姿を見て育つ～

大人が，お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習環境づくりに努めることが大切です。読書はとても効果的です。

ワンポイントアドバイス

家庭学習 こんな内容・方法で

～家庭学習を始める前に～

- ■ 学習前に，勉強する場所の整理・整とんを
- ■ 学校からのプリント類を一緒に確かめる。
- ■ 今日の宿題を一緒に確かめる。
- ■ 鉛筆の正しいもち方を教える。

【宿題】
全部できるようになれば，まず大丈夫！宿題を自分でやり終えることのできる子どもにしましょう。家族のアドバイスが必要です。

【日記】
楽しかったことやうれしかったことを，少しでも素直に自分の言葉で書くようアドバイスしましょう。

国語

音読

○楽しんで，すらすら読めるように毎日練習しましょう。
○句読点に気をつけて，大きな声ではっきりと読みましょう。

漢字

○書き順に気をつけて，丁寧にゆっくり書きましょう。

読書

○子どもにあった本をまわりにおきましょう。
○読み聞かせをするのもよいと思います。

算数

計算

○速さを競わずに，楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。正しく計算ができるようになったら，少しずつスピードを上げるようにしましょう。
○まちがった問題は，必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。正しい計算手順が確実に身につくように，ときには，手順を唱えながら練習しましょう。

生活

○休みの日には，山や川，動物園などに出かけ，本物の動植物にふれましょう。家でも生き物を育ててみましょう。

音楽

○けん盤ハーモニカ練習をしましょう。

長い休みにはこんなことを！

たとえば

ふだんできないことに，家族でじっくり取り組みたいものです。
- 絵日記を続ける。
- 水にじゅうぶん浮く練習をする。
- 図書館での読書を経験する。
- 自分の街の自慢（自然・公園・施設など）を絵に描いたり，身の回りの材料で工作をしたりする。
- 補助輪をはずして，自転車に乗る練習をする　　など

小学校3・4年生

自ら机に向かう習慣を身に付ける

いつするの？

帰宅後の生活スケジュールは家庭によっていろいろです。学校から帰ってすぐする方がよい場合と，夕食後，家の人に見守られながらするのがよい場合など，家庭の生活と自分に合った時間帯は様々です。

家族と一番適した時間帯はいつかを話し合い，時間帯を決めたら，それを守る子どもの努力とお家の方の協力が大切です。

どんなないことを？

例えば，次のようなことが考えられます。

1　まず，「宿題」をていねいにやります。
2　復習（その日学習したことを，自分の力でもう一度やってみる）
3　見直し（テスト，プリントで間違ったところをやり直す）
4　自主学習（苦手なところを繰り返し行う）
5　調べ学習（学校で学習したことで，さらに詳しく知りたいことや疑問に思ったことなどをインターネットや事典を使って調べる）
6　音読や読書
7　日記や関心をもった新聞記事・ニュースなどについての意見文を書く。
8　家庭で買ったドリルや問題集などをする。
9　次の日の準備と持ち物を調べよう。忘れ物がないようにする。

※　家庭学習用のノートがあると便利です。

※　予習（次の時間に学習することをまとめたり，自分の力で問題を解いたり，疑問を見付けたりする学習）も大切です。予習にも挑戦してみよう。

家庭学習 3つのコツ！

その1　宿題以外の学習にも挑戦！ ～すすんで学ぶ好奇心を～

宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組ませ，家庭学習のレベルアップを図っていくとよいでしょう。そのためにも，身のまわりの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけましょう。家事を分担し，進んで行うことも立派な学習です。

その2　テレビやゲームは時間をきめて！ ～家族の協力を～

テレビやゲームに夢中になって，時間がだらだらと長くなることがあります。けじめをつけさせることが，自律心や学習への集中力を育てることにもなります。根負けせずに，アドバイスし続けましょう。また，親のテレビを見る姿勢も大切です。

その3　ほかの子どもと比べない！　～「がんばり」を本気でほめる～

学習に少しずつ個人差が出てくるころです。友達や兄弟・姉妹で成長を比べることは避けて，「がんばり」を見逃さずに，本気でほめましょう。

ワンポイントアドバイス

家庭学習 こんな内容・方法で

～家庭学習を始める前に～

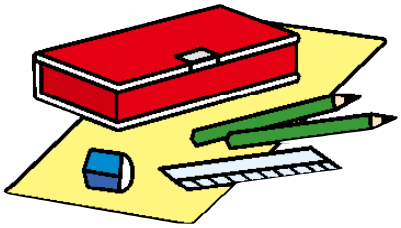
- ■ 学習前に，勉強する場所の整理整とんを。
- ■ 学校からのプリント類を親に渡す習慣を。
- ■ 今日の宿題を自分で確かめさせる。

【宿題】
子どもの力に合った内容や量になっているか，必要なときは先生とも相談してみましょう。

【日記】
様子がよく分かるように，会話を入れて詳しく書くようにアドバイスしましょう。
読み直す習慣もつけさせましょう。

国語

音読



○毎日１回は声に出して読みましょう。
○会話文は，気持ちを込めて読みましょう。

漢字

○学校のドリルなどを活用して，繰り返し丁寧に練習しましょう。
○正しい筆順で「とめ・はね・はらい」に気をつけて書きましょう。
○国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるように手元に置き，常に使用しましょう。

読書

○いろいろな種類の本を読みましょう。
○家庭で「読書タイム」をつくり，家族全員で本に親しみましょう。

算数

計算

○計算手順が正しく身につくよう，毎日少しずつ計算をしましょう。
○筆算は位をそろえて書き，手順を確かめながら計算しましょう。
○手順が長い計算も，集中して順番に計算していきましょう。

音楽

○機会を見て，リコーダーの練習をしましょう。

長い休みにはこんなことを！

たとえば

たっぷり時間をかけてふだんできないことをやってみよう。
・地域の行事や子ども会の活動などの学びの場に参加して，気づいたことや感じたことをまとめる。
・自分の街の自慢（自然・公園・施設など）を絵に描いたり，身の回りの材料で工作をしたりする。
・少し長めの本を読み通したり，植物や動物の成長を詳しく記録したりする。
など

小学校5・6年生

自ら予定を立て、自力で学習を進める

いつするの？

帰宅後の生活スケジュールは家庭によっていろいろです。学校から帰ってすぐする方がよい場合と，夕食後，家の人に見守られながらするのがよい場合など，家庭の生活と自分に合った時間帯は様々です。

家族と一番適した時間帯はいつかを話し合い，時間帯を決めたら，それを守る子どもの努力とお家の方の協力が大切です。

どんなないことを？

例えば，次のようなことが考えられます。

1　まず，「宿題」をていねいにやります。
2　復習（その日学習したことを，自分の力でもう一度やってみる）
3　見直し（テスト，プリントで間違ったところをやり直す）
4　自主学習（苦手なところを繰り返し行う）
5　調べ学習（学校で学習したことで，さらに詳しく知りたいことや疑問に思ったことなどをインターネットや事典を使って調べる）
6　音読や読書
7　日記や関心をもった新聞記事・ニュースなどについての意見文を書く。
8　家庭で買ったドリルや問題集などをする。
9　次の日の準備と持ち物を調べよう。忘れ物がないようにする。

※　家庭学習用のノートがあると便利です。

※　予習（次の時間に学習することをまとめたり，自分の力で問題を解いたり，疑問を見付けたりする学習）も大切です。予習にも挑戦してみよう。

家庭学習 3つのコツ！

その1　予定を立てて，計画的な学習を！～勉強時間を決めて～

放課後もあわただしく過ごす子どもが多く見受けられます。その日の予定を立て，見通しをもって学習させましょう。必ず学習する時間帯の設定をさせましょう。最初は予定通りできないこともありますが，長い目で見守りましょう。しょう。

その2　今一度，基本的な生活習慣の見直しを！～生活にリズムを～

生活リズムの乱れは，勉強ぎらいにつながります。「早寝早起き，夜更かしをしない」「朝食をとる」「朝に排便を済ませる」「テレビやゲームの時間を決める」など，中学校生活に向けて，今一度生活習慣の見直しをさせましょう。家事の分担も積極的に進めましょう。

その3　目標に向かって努力することの大切さを！

子どもの将来の夢，勉強する目的や勉強方法，学校の学習の様子や親の失敗談などを話題にして，目標をもって努力することの大切さを伝えましょう。どれだけがんばったかが大切です。

ワンポイントアドバイス

家庭学習 こんな内容・方法で

～家庭学習を始める前に～

- ■ 学習前に，勉強する場所の整理整とんを。
- ■ 学校からのプリント類を親に渡す習慣を。
- ■ 宿題を自分から確かめ，やる順番を決めさせる。

【宿題】
学校での学習をふり返りながら，教科書やノートを参考にして，苦手な内容もねばり強く取り組むようにアドバイスしましょう。

【日記】
書くことに慣れるとともに，自分の気持ちや考えを整理することの大切さに気づくように働きかけましょう。

国語

音読

○間を取りながら読むなど，自分のめあてを決めて練習しましょう。
○詩や俳句，短歌などを暗唱したり，朗読したりしましょう。
○ほかの教科の教科書を音読すると，重要な用語や内容を理解できるようになります。

漢字

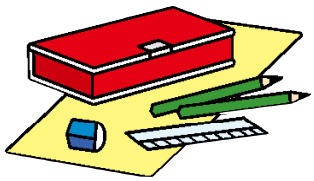
○漢字の構成や固形を意識して練習しましょう。
○習った漢字を使って，熟語や短文を作りましょう。
○国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるように手元に置き，常に使用しましょう。

読書

○家族で感想を語り合い，共に心を通わすことのできる世界を作りましょう。

算数

計算



○よく間違える計算は，繰り返し練習しましょう。
○答えの確かめを，自分でできるようになりましょう。

音楽

○機会を見て，リコーダーの練習をしましょう。
○いろいろなジャンルの音楽を聴いてみましょう。

家庭

○家庭科で学習したことを，家庭生活の中で実践しましょう。
○学んだことを生かし，家事の分担を考えましょう。

長い休みにはこんなことを！

たとえば

- ・博物館や美術館に出かけ，自然や歴史・文化に触れたり，絵画などを鑑賞したりする。
- ・買い物から調理まで，家族でクッキングにトライする。
- ・自分の街の自慢（自然・公園・施設など）を絵に描いたり，身の回りの材料で工作をしたりする。

など

家庭学習（かていがくしゅう）の「めあて」や「やくそく」を決（き）めて，かいてみよう。

1

2

3

なまえ

きょう・すみれ組

時間を決め、机に向かう習慣を身に付ける

いつするの？

帰宅後の生活スケジュールは家庭によっていろいろです。学校から帰ってすぐする方がよい場合と，夕食後，家の人に見守られながらするのがよい場合など，家庭の生活と自分に合った時間帯は様々です。

家族と一番適した時間帯はいつかを話し合い，時間帯を決めたら，それを守る子どもの努力とお家の方の協力が大切です。

どんなことを？

例えば，次のようなことが考えられます。

1　まず，「宿題」をていねいにやります。
2　国語の学習の音読の練習をします。
3　好きな本の読書をします。
4　簡単な文の視写をします。

※　お時間があれば，一緒に考えてあげる，やり終えた宿題を見てほめてあげるなど子どものがんばりを認めてあげてください。

家庭学習 3つのコツ！

その1　最後までやり終える！～家族も一緒に根くらべ～

「宿題はさいごまでやること」を守らせましょう。最後までやったかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも，時間のけじめをきちんと守らせましょう。

根負けせずに，ねばり強く働きかけることが大切です。

その2　子どもに家事を！～高学年・中学生になっても～

家庭で，子どもにできる仕事を見つけてください。

家族の一員としての自覚が育つとともに，学習に必要な持続力，集中力，根気などが育ちます。こうした家事の分担は，学年が上がってもするべきです。

その3　子どもは見ている！～子は親の後ろ姿を見て育つ～

大人が，お手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族ぐるみでよりよい学習環境づくりに努めることが大切です。読書はとても効果的です。